

# 朝霞市の財政

～いっしょにべんきょうしよう～



©むさしのフロントあさか

令和4年12月

朝霞市

# 目次



## 第1章 決算から見る朝霞市の財政状況

1	朝霞市の財政状況	1
2	令和3年度全会計の決算状況	2
3	令和3年度一般会計決算（歳入）	3
4	市税収入の推移	5
5	令和3年度一般会計決算（歳出）	6
6	扶助費の推移	9
7	一般会計収支決算の推移	10
8	新型コロナウイルス感染症による影響	11

## 第2章 市債と基金

1	市債残高の推移	12
2	基金残高と財政調整基金の推移	13

## 第3章 主要な財政指標

1	財政力指数	15
2	経常収支比率	17
3	健全化判断比率	18

## 第4章 予算編成

1	予算編成の流れ（枠配分方式について）	21
2	令和4年度一般会計当初予算（歳入）	22
3	令和4年度一般会計当初予算（歳出）	23

番外編	ぼぼたんのぎもん	24
-----	----------	----

## 資料編

1	歳入・歳出決算額の推移	31
2	実質収支の推移（一般会計）	32
3	市債現在高の推移	33

用語集		34
-----	--	----

# 第1章 決算から見る朝霞市の財政状況



ふわわ〜♪ ぼくは、朝霞市キャラクターの「**ぽぽたん**」だよ♪

ぼくと一緒に朝霞市の財政について勉強するぽ！

難しい言葉が並んでいるね 最後まで勉強してから  
もう一度読んでみよう！（最後に用語集もあるよ！  
下線部分が見えないときは、用語集を見てね！）

## 1 朝霞市の財政状況

朝霞市は都心に近く、交通の利便性に優れるとともに、豊かな自然と景観がある、都会のベッドタウンとしてこれまで発展してきたんだよ。この朝霞ならではの都市と自然のバランスを図り、さらに調和させていくことで、まちが暮らしやすくなると考えているんだ。そこで、平成28年度から第5次朝霞市総合計画で掲げる将来像「私が暮らしたつづきたいまち 朝霞」の実現を目指して、日々の行財政運営に取り組んでいるんだよ。

近年は、長期化している新型コロナウイルス感染症の影響やロシアのウクライナ侵攻によるエネルギーや食料品価格等の物価高騰など厳しい状況が続いていて、これらのことにも対応が必要だよ。

このような状況の中、朝霞市では、**歳入**において、国や県などの補助制度を最大限活用しているほか、市税の徴収率向上にも努めているよ。**歳出**では、限られた財源を有効活用するため、政策主導型の**予算編成**をしているよ。事業の取捨選択を進めるとともに、既存事業の見直しによる経費の節減に努めているんだ。

令和3年度決算は、経常収支比率が92.6%と改善されて、収入と支出の実質収支が約28億と堅調な数字となったんだ。でも、これは国から普通交付税などの増額があったからで、臨時的なことなんだよ。

現在、新型コロナウイルス感染症の影響や物価高騰、国の税制改正、**地方交付税**を取り巻く状況が不透明で、歳入が大幅に増える見込みを立てることは難しく、歳出面では**社会保障関係経費**の増加が引き続き見込まれるうえ、公共施設の老朽化に伴う更新・改修の必要性も高まっていることから、今後、より一層の計画的かつ効率的な財政運営を推進していく必要があるんだよ。

わかりやすく  
分けているんだね！

## 2 令和3年度全会計の決算状況

市では、市民のみんなが必要とするサービスを提供するため、色々な仕事をしているよ。そこで、お金をどのようなことに使うかについて分かりやすくするため、「会計」という名前のお財布に分けているんだ。

朝霞市では一般会計（1会計）、特別会計（3会計）、公営企業会計（2会計）の3種類、計6つのお財布に分けて事業を実施しているよ。



### 【決算の総額】

#### 一般会計

歳入 536億7,827万7千円  
歳出 507億3,870万7千円

福祉、医療、教育、道路や公園の整備など、市の基本的なサービスを行う会計だよ。市民のみんなが納めている市税は、主に一般会計に使われているんだ。一般会計は1つしかないんだよ。

#### 特別会計

歳入 211億6,333万3千円  
歳出 205億8,978万4千円

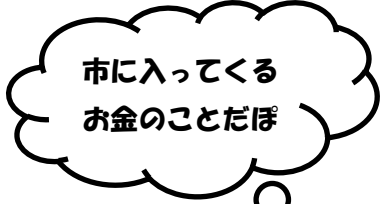
朝霞市の特別会計は、国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療保険の3つあるよ。国民健康保険税は国民健康保険加入者のために使う、というふうに、特定の収入を特定の支出に使うため、一般会計とは区別しているよ。

#### 公営企業会計

収益的収支 収入 48億6,880万7千円  
支出 39億518万円  
資本的収支 収入 8億2,704万8千円  
支出 17億9,995万3千円

水道事業、下水道事業の2会計だよ。事業経営に伴う「収益的収支」と施設の改良事業に要する「資本的収支」の2つの収支で構成されているんだ。民間企業と同じように、基本的には事業の収益でまかなわれているよ。水道事業は水道料金、下水道事業は下水道料金で運営しているよ。

### 3 令和3年度一般会計決算（歳入）



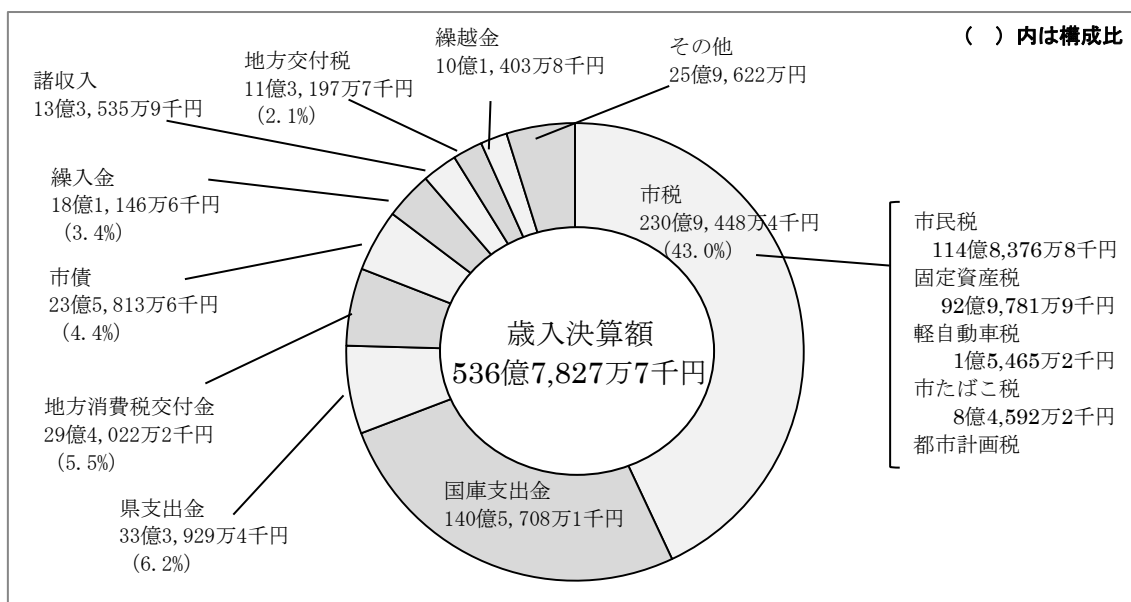
#### 【歳入の状況】

市では1年間に入ってくるお金を「歳入」と呼ぶんだよ。歳入には、下のグラフにあるように、市税だけでなく、国や県からもらうものや、施設の使用料など、色々な種類があるんだ。



歳入決算額とは、1年間の歳入総額のことだよ。前年度より86億6,248万1千円（13.9%）少なかったんだ。

市民のみんなが納める市税は、前年度より1億1,141万7千円（0.5%）少なかったよ。また、前年度と比べて、国からは111億8,004万4千円（44.3%）少なく、県からは6,828万1千円（2.1%）多くもらったんだ。みんなが納めてくれる税金に加えて、国や県からもらうお金などを活用しているんだね。



※その他…地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、法人事業税交付金、ゴルフ場利用税交付金、環境性能割交付金、国有提供施設等所在市町村助成交付金、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金、分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金

<b>市民1人当たりの市税負担額 16万461円</b>				
市民税	固定資産税	軽自動車税	市たばこ税	都市計画税
7万9,790円	6万4,601円	1,075円	5,877円	9,118円

P.10に歳入総額の推移がのっているよ。  
Aの欄を見てね。



## 【歳入決算額の前年比較】

(単位：千円・%)

区 分	令和3年度		令和2年度		増 減 額	対前年比
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比		
★市 税	23,094,484	43.0	23,205,901	37.2	△ 111,417	99.5
★市 民 税	11,483,768	21.4	11,647,415	18.7	△ 163,647	98.6
★固 定 資 産 税	9,297,819	17.3	9,296,370	14.9	1,449	100.0
★軽 自 動 車 税	154,652	0.3	149,049	0.2	5,603	103.8
★市 た ば こ 税	845,922	1.6	795,478	1.3	50,444	106.3
★都 市 計 画 税	1,312,323	2.4	1,317,589	2.1	△ 5,266	99.6
地 方 譲 与 税	224,303	0.4	218,800	0.4	5,503	102.5
利 子 割 交 付 金	16,098	0.0	19,188	0.0	△ 3,090	83.9
配 当 割 交 付 金	159,399	0.3	101,955	0.2	57,444	156.3
株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	189,853	0.4	122,545	0.2	67,308	154.9
法 人 事 業 税 交 付 金	153,352	0.3	71,435	0.1	81,917	214.7
地 方 消 費 税 交 付 金	2,940,222	5.5	2,674,334	4.3	265,888	109.9
ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	11,961	0.0	10,196	0.0	1,765	117.3
環 境 性 能 割 交 付 金	28,977	0.1	29,883	0.0	△ 906	97.0
国 有 提 供 施 設 等 所 在 市 町 村 助 成 交 付 金	111,385	0.2	111,572	0.2	△ 187	99.8
地 方 特 例 交 付 金	305,249	0.5	196,950	0.3	108,299	155.0
地 方 交 付 税	1,131,977	2.1	226,733	0.4	905,244	499.3
普 通 交 付 税	964,920	1.8	84,923	0.2	879,997	1,136.2
特 別 交 付 税	167,057	0.3	141,810	0.2	25,247	117.8
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	13,569	0.0	14,017	0.0	△ 448	96.8
★分 担 金 及 び 負 担 金	478,667	0.9	437,170	0.7	41,497	109.5
★使 用 料 及 び 手 数 料	681,613	1.3	660,237	1.1	21,376	103.2
国 庫 支 出 金	14,057,081	26.2	25,237,125	40.4	△ 11,180,044	55.7
県 支 出 金	3,339,294	6.2	3,271,013	5.2	68,281	102.1
★財 産 収 入	154,157	0.3	168,898	0.3	△ 14,741	91.3
★寄 附 金	67,637	0.1	138,462	0.2	△ 70,825	48.8
★繰 入 金	1,811,466	3.4	291,973	0.5	1,519,493	620.4
★繰 越 金	1,014,038	1.9	1,166,881	1.9	△ 152,843	86.9
★諸 収 入	1,335,359	2.5	1,291,310	2.1	44,049	103.4
市 債	2,358,136	4.4	2,674,180	4.3	△ 316,044	88.2
合 計	53,678,277	100.0	62,340,758	100.0	△ 8,662,481	86.1

※★は自主財源を、それ以外は依存財源を表しているよ。

### 【自主財源と依存財源】

自主財源とは、市税など市が自主的に収入できる財源のことなんだよ。

令和3年度一般会計決算では、歳入総額の53.4%が自主財源なんだ。

一方、依存財源とは、国や県などからもらうものや、借り入れた収入などのことだよ。



みんなの貴重な税金のおかげで  
朝霞市は成り立っているんだね

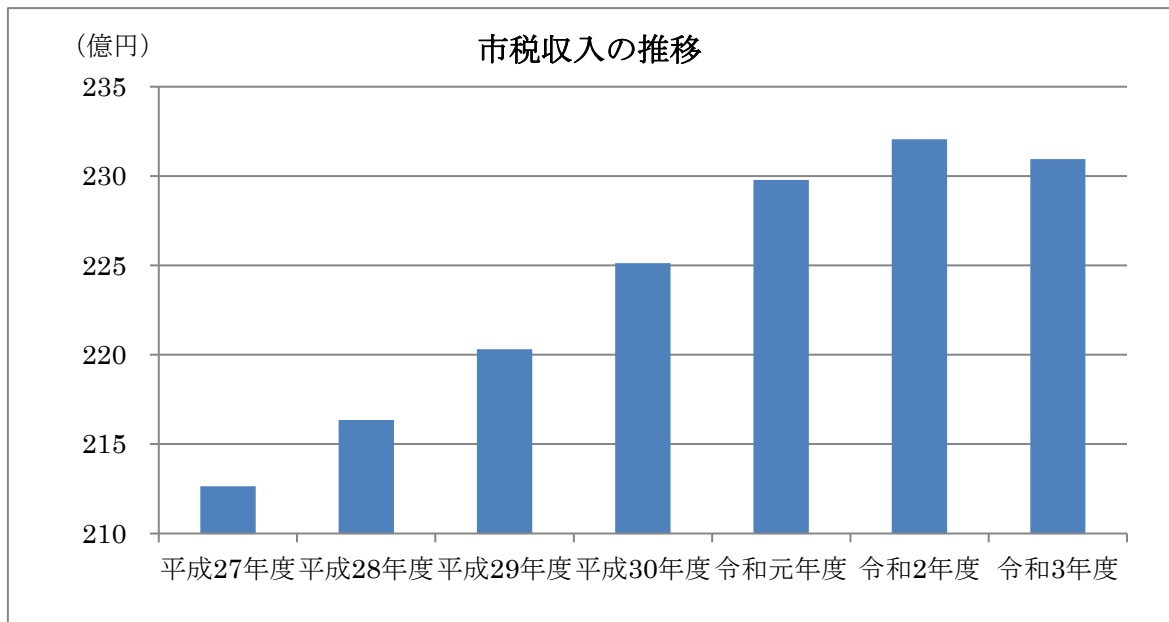
## 4 市税収入の推移

市税収入額の推移は以下の表のとおりだよ。

令和3年度は、個人市民税などが減った結果、市税収入の合計も  
前年度より、1億1,141万7千円（0.5%）減っているんだ。

(単位:千円)

歳入	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
市民税(個人)	9,419,228	9,725,466	9,930,809	10,278,259	10,555,901	10,883,895	10,743,768
市民税(法人)	856,917	830,084	869,327	903,929	920,942	763,520	740,000
固定資産税	8,785,484	8,851,154	9,026,731	9,111,348	9,251,221	9,296,370	9,297,819
軽自動車税	94,629	117,904	123,718	128,264	138,738	149,049	154,652
市たばこ税	851,344	843,830	800,359	804,074	811,596	795,478	845,922
都市計画税	1,255,927	1,266,318	1,280,067	1,287,363	1,300,448	1,317,589	1,312,323
市税合計	21,263,529	21,634,756	22,031,011	22,513,237	22,978,846	23,205,901	23,094,484



ほぼたんのぎもん① → P24で解説するよ!

近年、右肩上がりだった市税収入が令和3年度は0.5%減少しているんだ。

このまま市税が減り続けたら、どうなるかわかるかな?

市税は大事な財源だから、今後も大事にしていかなきゃいけないね。

収入が  
減ったら...?



## 5 令和3年度一般会計決算（歳出）

お金を何に使うのかな？  
コロナの影響は  
P11を見てね

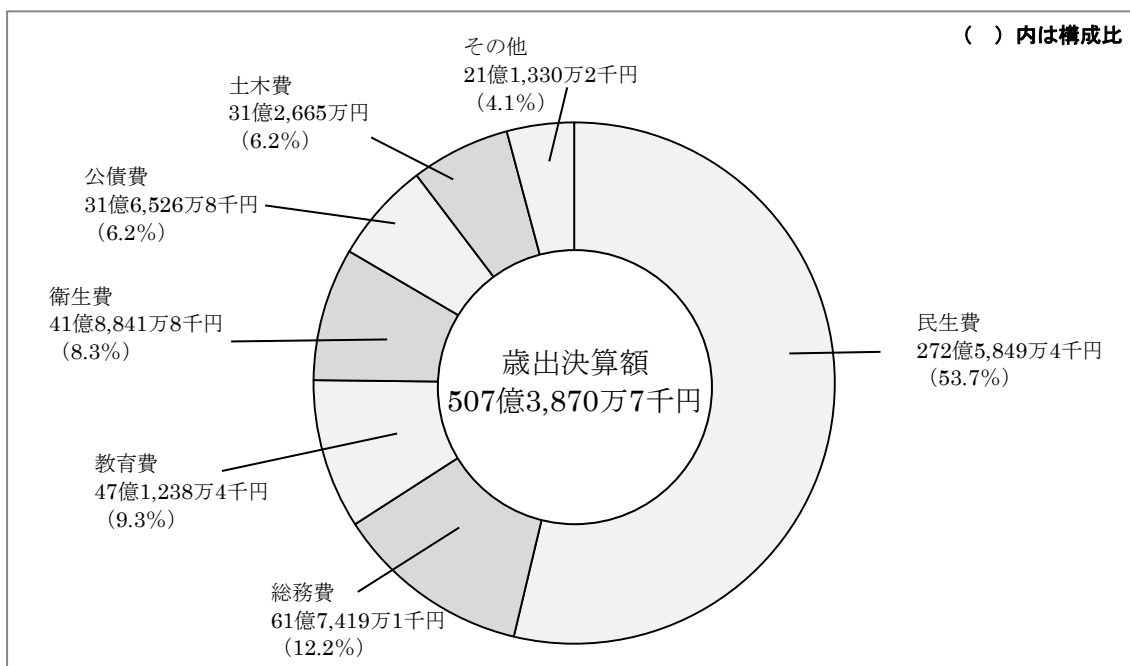
### 【目的別歳出の状況】

市では1年間に使うお金のことを「歳出」と呼ぶんだよ。

下のグラフは、お金を使った「目的別」に分けているんだよ。目的別とは、どんな目的を達成するために使ったお金なのかで歳出を分ける方法のことだよ。歳出では、目的別で表す以外に、「性質別」で表すこともあるんだ。性質別については、P8で説明するよ。

歳出決算額とは、歳出総額のことだよ。前年度より105億8,801万3千円（17.3%）少なかったんだ。

下のグラフを見ると民生費が歳出総額の半分以上を占めているんだ。今後も同様な傾向が続くと考えられているよ。



※その他…議会費、労働費、農林水産業費、商工費、消防費、諸支出金

令和4年3月31日現在人口 14万3,926人

市民1人当たりに使われたお金 35万2,533円						
民生費	総務費	教育費	衛生費	公債費	土木費	その他
18万9,392円	4万2,899円	3万2,742円	2万9,101円	2万1,992円	2万1,724円	1万4,683円

ほぼたんのぎもん② → P25で解説するよ！

P3の市民一人当たりの市税負担額より、上の表の市民一人当たりの使われたお金の方が多いのはなんでだろう？

歳出の半分以上を占めている民生費には、具体的にどんなサービスがあって、何で今後も増えていくか、ほぼたんはわかるかな？







【目的別歳出決算額の前年比較】

(単位：千円・%)

区分	令和3年度		令和2年度		増減額	対前年比	主な増減理由
	決算額	構成比	決算額	構成比			
議会費	279,271	0.5	277,618	0.4	1,653	100.6	職員人件費(63,201→65,583) 2,382 議員共済会共済給付費負担金(39,761→37,740) △2,021 会議録調製等委託料(9,550→10,893) 1,343
総務費	6,174,191	12.2	4,775,543	7.8	1,398,648	129.3	財政調整基金積立金(485,811→1,671,677) 1,185,866 庁舎等管理工事(1,471→37,312) 35,841 防災行政無線デジタル化整備工事 △121,661 防災対策用備品購入費(40,375→396) △39,979 オリンピック・パラリンピック事業(3,957→39,339) 35,382 公共施設マネジメント基金積立金 500,000 市長選挙執行事業 △35,557 衆議院議員選挙執行事業 47,849 国勢調査事業 △55,455
民生費	27,258,494	53.7	38,094,711	62.1	△10,836,217	71.6	住民税非課税世帯等への臨時特別給付金支給事業 985,479 介護給付・訓練等給付費負担金(2,451,002→2,629,055) 178,053 特別定額金給付事業 △14,324,504 こども医療給付費(451,844→562,607) 110,763 子育て世帯への臨時特別給付金支給事業(186,996→2,017,943) 1,830,947 あきかスマイルキッズ臨時特別給付金支給事業 △90,507 ひとり親世帯臨時特別給付金支給事業(102,047→28,113) △73,934 子どものための教育・保育給付負担金(3,866,755→4,061,036) 194,281 生活保護費(3,613,775→3,773,262) 159,487
衛生費	4,188,418	8.3	3,357,362	5.5	831,056	124.8	特別出産給付金支給事業 △83,390 各種個別予防接種委託料(482,929→427,810) △55,119 新型コロナウイルスワクチン接種事業(14,604→1,032,209) 1,017,605 朝霞和光資源循環組合負担金(33,686→137,985) 104,299 水道事業会計補助金 △121,100
労働費	2,182	0.0	1,683	0.0	499	129.6	公的資格等取得補助金 525
農林水産業費	68,861	0.1	64,955	0.1	3,906	106.0	職員人件費(38,055→41,063) 3,008 市民農園整備工事 1,705 環境保全型農業推進事業費補助金(2,128→1,338) △790
商工費	365,165	0.7	710,483	1.2	△345,318	51.4	中小・小規模企業者支援金 △270,800 事業者応援支援金 40,350 プレミアム商品券事業費補助金(53,200→130,000) 76,800 産業文化センター施設改修工事 △144,859
土木費	3,126,650	6.2	3,210,750	5.2	△84,100	97.4	道路舗装工事(241,016→97,308) △143,708 道路用地購入費 313,926 排水機場維持管理事業 設備修繕料 △104,104 内間木橋撤去工事 157,080 観音通線整備事業 街路用地購入費 △185,579 駅東通線整備事業 街路用地購入費(187,085→275,669) 88,584 交通安全対策工事(96,992→6,305) △90,687 歩道橋改修工事 △73,633
消防費	1,397,791	2.8	1,347,431	2.2	50,360	103.7	朝霞地区一部事務組合消防負担金(1,268,185→1,315,179) 46,994 消防栓新設及び維持管理費負担金(7,344→3,507) △3,837
教育費	4,712,384	9.3	6,447,436	10.5	△1,735,052	73.1	小学校コンピュータ整備事業 教材教具購入費(435,977→9,900) △426,077 小学校施設改修事業 校舎改修工事(230,267→46,096) △184,171 中学校コンピュータ整備事業 教材教具購入費(201,127→1,882) △199,245 中学校施設改修事業 体育施設整備工事(3,724→228,560) 224,836 第八小学校自校給食施設等整備事業 △836,497 図書館施設改修事業(10,527→366,035) 355,508 総合体育館施設改修事業 △566,031
公債費	3,165,268	6.2	3,038,731	5.0	126,537	104.2	地方債元金(2,888,529→3,034,426) 145,897 地方債利子(150,202→130,842) △19,360
諸支出金	32	0.0	17	0.0	15	188.2	土地開発基金繰出金(17→32) 15
合計	50,738,707	100.0	61,326,720	100.0	△10,588,013	82.7	

- 議会費…議会の活動のための経費
- 総務費…徴税・戸籍・選挙・統計などのための経費
- 民生費…福祉や保育など、住民の一定水準の生活を確保し、安定した社会生活を保障するための経費
- 衛生費…公害対策やごみ処理など、住民の健康で衛生的な生活環境を保持するための経費
- 労働費…労働者を支援する各種事業のための経費
- 農林水産業費…農業の改良や組合の指導育成、農業施設の管理のための経費
- 商工費…中小企業への融資支援、商工業の振興などのための経費
- 土木費…道路橋りょうの整備・改良、都市計画などのための経費
- 消防費…埼玉県南西部消防局の運営や、消防団の活動などのための経費
- 教育費…学校・博物館・公民館・図書館などの施設の設置管理、その他教育や学術文化に関する事務を行うための経費
- 公債費…市が借り入れた市債(借金)の元金、利子の償還(返済)費
- 諸支出金…土地を取得するための土地開発基金への繰出金

## 【性質別歳出決算額の推移】

今度は、一般会計決算を「性質別」に見てみよう。  
性質別とは、「給与として払った」、「工事のために使った」など、その支払いの性質によって歳出を分ける方法のことだよ。

(単位:千円)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
人件費	6,750,271	6,863,347	6,923,182	6,971,858	7,059,360	7,255,457	7,246,714
(うち職員給)	4,163,143	4,313,749	4,340,944	4,412,530	4,536,645	4,609,222	4,633,788
扶助費	11,215,830	12,026,862	12,869,579	13,205,774	14,170,207	14,902,154	18,515,215
公債費	2,991,274	2,981,619	2,974,155	2,990,362	3,049,466	3,038,731	3,165,268
物件費	7,300,485	7,435,267	7,586,540	7,852,539	7,668,481	8,286,960	8,803,458
維持補修費	326,616	361,669	330,649	339,148	408,901	413,292	449,853
補助費等	3,107,173	2,751,172	2,879,412	3,058,472	3,344,996	19,433,938	4,590,411
積立金	857,300	518,761	538,078	709,015	570,449	488,667	2,180,526
貸付金	112,440	102,844	96,658	87,759	78,229	66,802	46,175
繰出金	3,583,784	3,508,404	3,479,823	3,371,037	3,578,171	3,369,980	3,521,291
普通建設事業費	1,779,821	2,645,543	2,703,016	3,097,981	3,413,430	4,070,739	2,219,796
合計	38,024,994	39,195,488	40,381,092	41,683,945	43,341,690	61,326,720	50,738,707

人件費…市長・市職員の給与、市議会議員の報酬などの経費

扶助費…生活保護や児童福祉、障害者福祉などの社会保障に要する経費

公債費…地方債の元金の返済や利子の支払いにかかる経費

物件費…施設の光熱水費や消耗品、備品購入費、各種委託料などに要する経費

維持補修費…施設の修繕料などのために要する経費

補助費等…各種団体に対する補助金や講師への謝礼などに要する経費

積立金…財政調整基金などの基金に積み立てるための経費

貸付金…入学準備金や奨学金などの貸付事業にかかる経費

繰出金…特別会計に支出するための経費

普通建設事業費…道路、学校などの施設の建設事業(工事費)などに要する経費

積立金は、公共施設マネジメント基金に5億円積み立てたほか、国からの普通交付税、臨時財政対策債が増えたため、財政調整基金に例年より多く積立てたから増えたんだ。



扶助費は、生活を  
支えるお金なんだね

## 6 扶助費の推移

扶助費とは、生活に困っている方や子育てをしている方、障害のある方や高齢の方などの生活を支えるためのお金のことだよ。

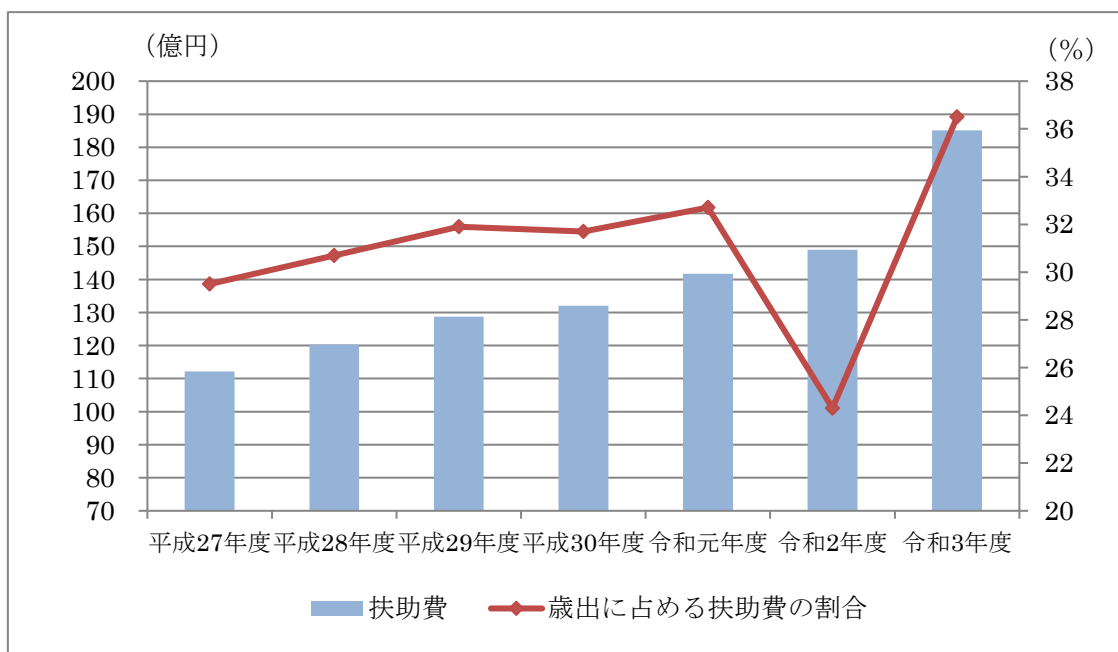
扶助費はみんなの生活を支えるお金だから、とっても大切なんだよ。

最近では毎年増えているけど、令和3年度は前年度より36億1,306万1千円も増えて、扶助費の割合が上がったんだ。主な要因は新型コロナウイルス感染症の影響を受けて「子育て世帯への臨時特別給付金」の支出が、18億2,339万円も多くなったからなんだよ。

朝霞市は待機児童の解消のために保育園を増やすなど、保育需要が拡大しているし、日本全体の問題としては高齢化が進んでいるから、扶助費が増えていくと予想されているんだ。

(単位:千円・%)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
扶助費	11,215,830	12,026,862	12,869,579	13,205,774	14,170,207	14,902,154	18,515,215
歳出総額	38,024,994	39,195,488	40,381,092	41,683,945	43,341,690	61,326,720	50,738,707
歳出総額に占める扶助費の割合	29.5	30.7	31.9	31.7	32.7	24.3	36.5



ほぽたんのぎもん③ → P25で解説するよ!  
令和3年度は、多くの扶助費が支出されたけどそんなに扶助費を増やして大丈夫なのかな?



どうなるん  
だろう...

歳入と歳出を比べると…?!

## 7 一般会計収支決算の推移

一般会計の収支決算状況は以下の表のとおりだよ。

用語については下で説明するね。

令和3年度決算は実質単年度収支が黒字だったよ。これは、積立金の積立が取崩しより少なかったけど、それ以上に単年度収支が黒字になったことが要因だよ。



(単位:千円)

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
歳入総額	A	39,099,215	40,261,213	41,515,181	43,025,113	44,508,570	62,340,758	53,678,277
歳出総額	B	38,024,994	39,195,488	40,381,092	41,683,945	43,341,690	61,326,720	50,738,707
歳入歳出差引額 (A-B)	C	1,074,221	1,065,725	1,134,089	1,341,168	1,166,880	1,014,038	2,939,570
翌年度に繰り越 すべき財源	D	64,835	60,672	114,661	221,698	195,272	25,857	108,935
実質収支 (C-D)	E	1,009,386	1,005,053	1,019,428	1,119,470	971,608	988,181	2,830,635
単年度収支	F	105,609	△ 4,333	14,375	100,042	△ 147,862	16,573	1,842,455
積立金	G	853,903	518,521	532,062	703,636	562,226	485,811	1,671,677
繰上償還金	H							
積立金取崩し額	I	141,705	54,911	303,432	363,853	599,792	233,057	1,762,250
実質単年度収支 (F+G+H-I)	J	817,807	459,277	243,005	439,825	△ 185,428	269,327	1,751,882

### 【実質収支 (E)】

歳入歳出差引額から翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた数値で、その年度の実質的な収支（黒字、赤字）を表すよ。

### 【単年度収支 (F)】

当該年度の歳入には、その前年度の実質収支も繰越金として引き継がれているため、当該年度の実質収支から前年度の実質収支を差し引いて、1年間で黒字であったか赤字であったかを表すよ。

### 【実質単年度収支 (J)】

実質的な黒字要素（財政調整基金への積立金や債務を繰り上げて償還した繰上償還金）や赤字要素（積立金取崩し額）が、歳入・歳出に措置されなかった場合、単年度収支がどのようになっていたかを表すよ。

ほぼたんのぎもん④ → P26で解説するよ!  
黒字ということは、朝霞市はお金持ちだと思うかな?

黒字なら  
大丈夫…?



早く落ち着いてほしいね

## 8 新型コロナウイルス感染症による影響

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大に対し、市民の安全を守るため必要な支援を迅速に行うとともに、市内事業者が事業を継続できるよう経済対策を行うほか、公共施設などにおける感染症対策を強化したよ。その結果、コロナ対策経費として約45億円の支出をしたんだ。この支出は、歳出決算額の約9%を占めているんだよ。



### 【感染症対策事業内訳】

(単位:千円)

事業名	事業費
【個人向け】子育て世帯への臨時特別給付金支給事業	2,017,943
【個人向け】新型コロナウイルスワクチン接種事業	1,032,209
【個人・事業者向け】プレミアム付商品券事業費	127,311
【事業者向け】中小企業融資利子補給補助金事業	5,450
【事業者向け】事業者応援支援金	40,350
全事業 合計	約4,500,000

コロナ対策経費が減って、これに伴って国庫支出金も少なくなったから令和3年度は再び、市税が歳入の構成割合で1番大きい金額となったよ。

今後も新型コロナウイルス感染症の対策を実施しつつも、将来の財政運営に細心の注意を払わないといけないね。

しっかりと感染症対策  
しているんだね



# 第2章 市債と基金

## 1 市債残高の推移

借金があるんだね!

市債とは、市の借金のことだよ。道路や学校、保育園など長い期間利用できる公共施設を整備するときなどに借りるんだ。大きい工事などを  
 する際は、たくさんお金がかかるため、その年度の歳入だけで支払うのは難しいんだ。また、市民が長い期間にわたって使う施設であれば、それを将来利用する市民にも借金の返済という形で負担してもらうんだ。そうして世代間負担の公平性を保っているんだよ。



朝霞市は、できるだけ返す金額より、多く借金をしないようにして、計画的に運用しているんだよ。それによって、ここ数年間の一般会計における市債残高は減少傾向にあるんだ。ただ、水道事業は令和4年度末少し増える見込みだよ。これは、水道施設の老朽化対策工事などに対する借入額が多くなりそうだからなんだ。

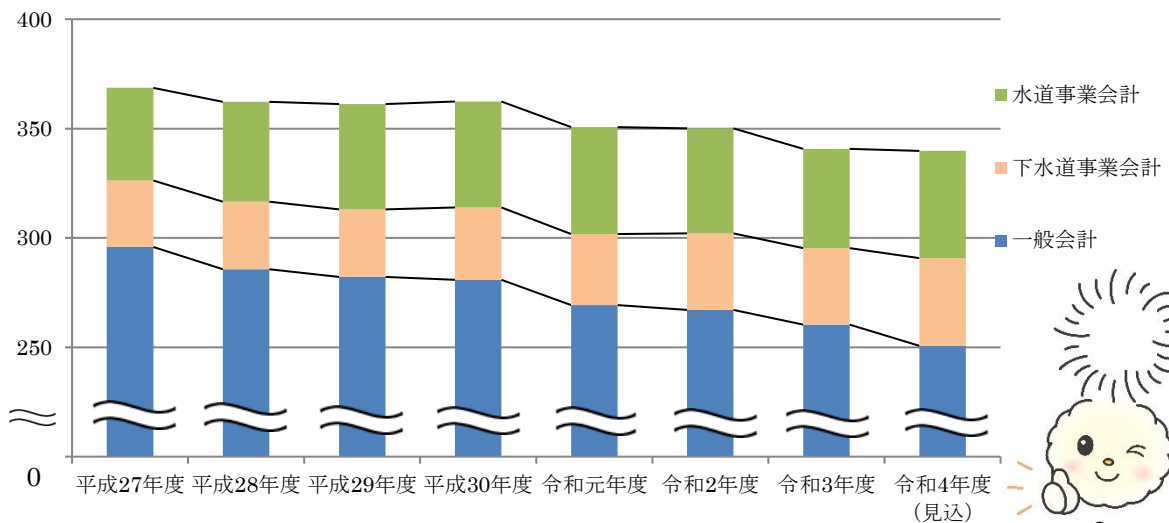
【全会計の市債残高】

(単位:千円)

	平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末	平成30年度末	令和元年度末	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末 (見込)
一般会計	29,587,241	28,571,896	28,221,744	28,089,210	26,926,149	26,711,800	26,035,509	25,069,195
水道事業会計	4,235,746	4,566,720	4,807,088	4,851,916	4,888,188	4,797,993	4,526,341	4,902,410
下水道事業会計	3,038,948	3,086,945	3,088,505	3,301,646	3,246,422	3,500,944	3,504,306	4,008,574
合計	36,861,935	36,225,561	36,117,337	36,242,772	35,060,759	35,010,737	34,066,156	33,980,179

※令和4年度については、令和4年12月末時点の見込みだよ。

(億円)



市債（借金）には、現在の市民と将来の市民の負担を平等にする効果と、毎年の出費の偏りをなくす効果があるんだ。

上手に借金を使っているんだ



## 2 基金残高と財政調整基金の推移

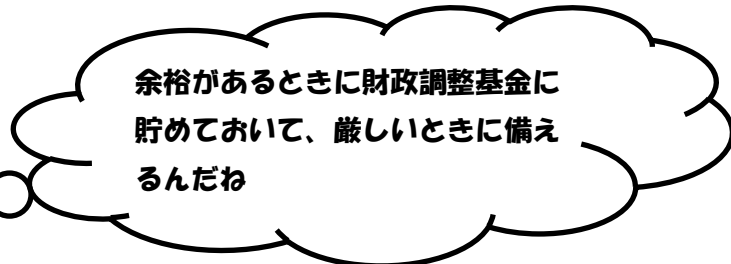


### 【基金残高】

基金とは、決まった目的のために使う貯金のことだよ。でも、財政調整基金だけは、不測の事態に備えるために貯めている貯金だよ。朝霞市の一般会計では、ルールを決めて7つの基金を設置しているよ。

基金名	基金の目的	令和3年度末 現在高(千円)
財政調整基金	年度間の財源が不足した場合に備えて、必要な資金を積み立てているよ。	2,700,074
基地跡地整備基金	基地跡地の整備のために必要な資金を積み立てているよ。	207,110
公共施設 マネジメント基金	公共施設の保全や更新に必要な資金を積み立てているよ。	500,000
ふるさと応援基金	ふるさと納税の寄附金を意向に沿った事業に活用するため積み立てているよ。	1,591
みどりの まちづくり基金	緑地の保全や緑化の推進に必要な資金を積み立てているよ。	19,867
土地開発基金	土地を買うために必要な資金を積み立てているよ。	3,050,798
福祉資金貸付基金	福祉資金の貸付けに必要な資金を積み立てているよ。	18,170
合 計		6,497,610

前の年の決算で余ったお金は、財政調整基金に2分の1以上の額を積み立てる(貯金する)か、地方債の繰上償還(借金の返済を前倒し)をしなくてはならないんだよ。たくさんお金が余ったからといってどんどん使うと、収入が少ないときなどに対応できなくなるからね。次のページで財政調整基金について説明するよ。





いざというときのための貯金！

### 【財政調整基金】

財政調整基金は、景気の影響などで大幅に税収が減る、地震や台風などの災害がおきた時などによる思わぬ支出が増えるなど、思いもよらない収入の減少や予定外の支出の増加に備えて、**安定した財政運営を行う（市民サービスを提供する）ために積み立てている貯金**なんだよ。



(単位:千円)

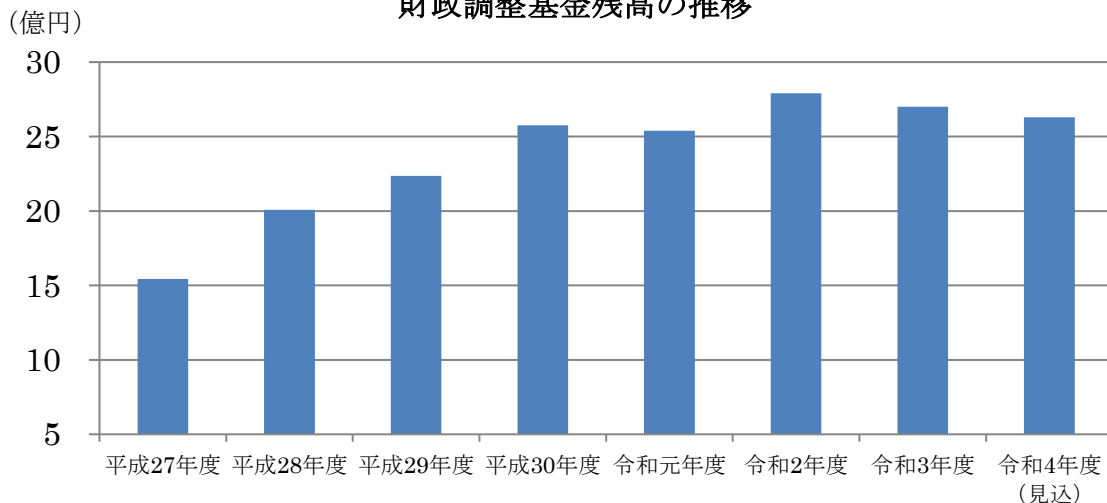
	平成27年度末 現在高	平成28年度末 現在高	平成29年度末 現在高	平成30年度末 現在高	令和元年度末 現在高	令和2年度末 現在高	令和3年度末 現在高	令和4年度末 現在高(見込)
財政調整基金	1,543,436	2,007,046	2,235,677	2,575,460	2,537,893	2,790,647	2,700,074	2,629,144

※令和4年度については、令和4年12月時点の見込みだよ。

景気の影響を受け、市税収入が伸び悩む中であっても市民サービスの水準を低下させないため、財政調整基金を使った財政運営を行ってきたんだ。その後、景気回復にあわせて市税収入も回復し、平成26年度からは基金へ貯金できるようになったんだ。**令和3年度は積立もしたけど、「公共施設マネジメント基金」を設置して5億円を積み立てたため、財政調整基金の残高が減少したよ。**

安定した財政運営を行うためには、ある程度の残高は確保しておく必要があるよ。今後も、新型コロナウイルス感染症や物価高騰の影響などで、市税収入もどう変わっていくか分からないから、**より一層効率的な財政運営を行っていく必要がある**んだよ。

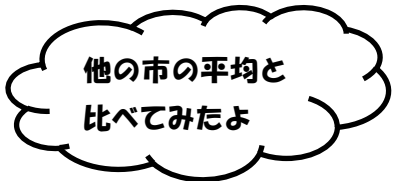
財政調整基金残高の推移



ぽぽたんのぎもん⑤ → P27で解説するよ！  
借金があるのに、貯金もあるね。何か理由があるのかな？



# 第3章 主要な財政指標



## 1 財政力指数

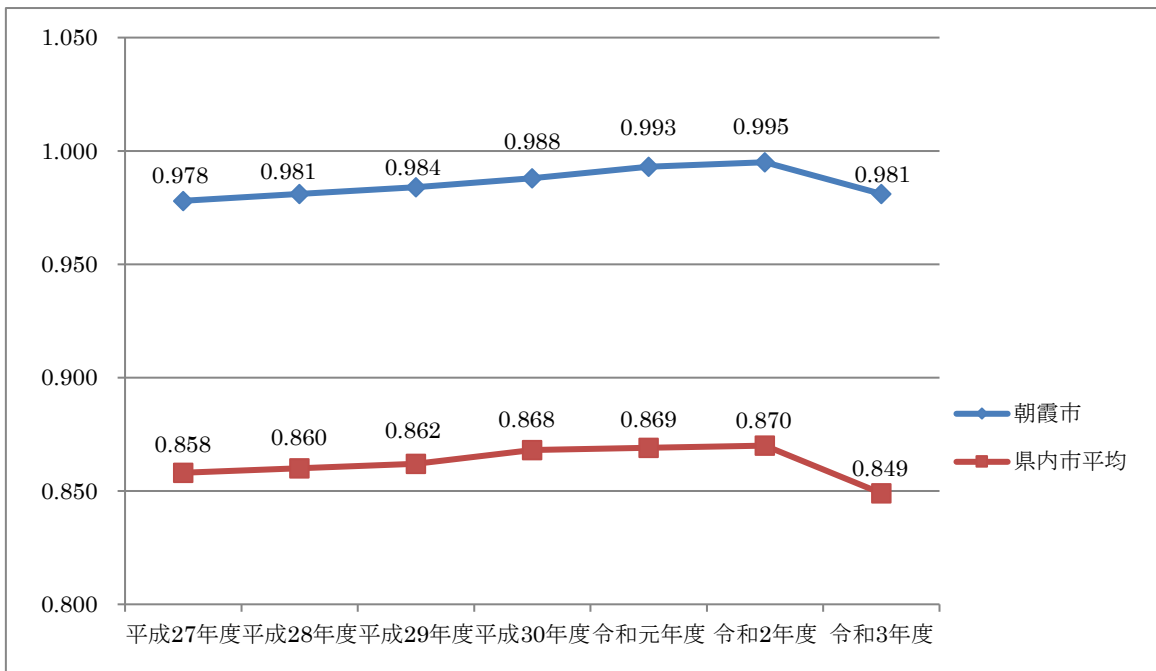
財政力指数とは、市民サービスを行うために必要なお金を自分の力でどれだけ準備できるかを示す指標のことだよ。通常過去3か年の平均で表されるよ。財政力指数が大きいほど力が強いんだけど、この指数が「1」を超えると、国から普通交付税がもらえなくなるんだ。



令和3年度の財政力指数は、高い順（良い方）からみて、県内40市中4番目だったよ。

朝霞市は県内市平均を上回っているよ。だけど、財源の中心が市税だから、景気が良くなると高く、悪くなると低くなりやすいという特徴があるんだよ。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
朝霞市	0.978	0.981	0.984	0.988	0.993	0.995	0.981



ほぼたんのぎもん⑥ → P27で解説するよ！  
財政力指数は大きいほうが財政力は強いけど、「1」を超えると国から普通交付税をもらえなくなっちゃうんだ。  
財政力指数は「1」を超えたほうがいいのか？  
それとも超えないほうがいいのか？



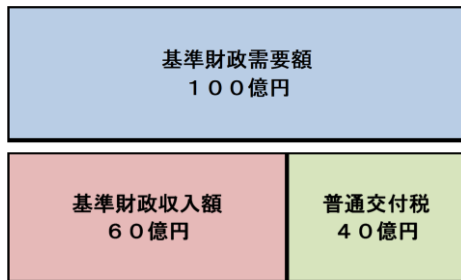
～コーヒーブレイク～  
普通交付税とは？



普通交付税とは、地方交付税の一つで、地方公共団体ごとに「基準財政需要額」と「基準財政収入額」を算出し、「基準財政需要額>基準財政収入額」となる場合に交付される一般財源のことだよ。  
「基準財政需要額」は、地方公共団体ごとに合理的・客観的な指標をもとに計算された標準的な行政経費（支出）のことで、「基準財政収入額」は、標準的な一般財源となる収入のことなんだ。だから、市が独自のサービスなどで支出を増やしたとしても、普通交付税が増加するとは限らないんだ。

【普通交付税のイメージ】

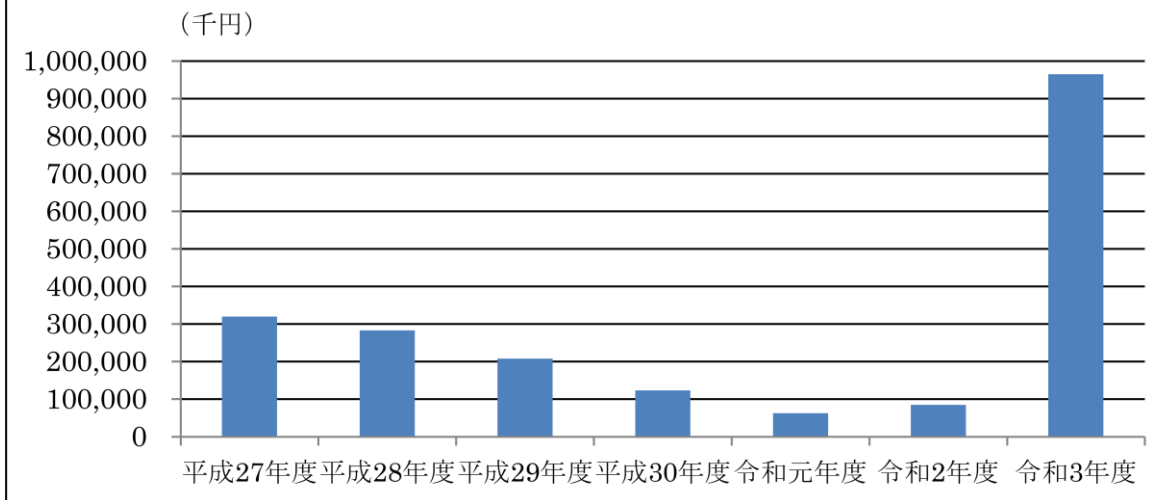
① 交付となる場合



② 不交付となる場合



朝霞市における普通交付税交付額の推移



(単位:千円)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
普通交付税交付額	319,699	282,874	208,235	123,664	62,996	84,923	964,920

令和3年度は、約8億8,000万円も増えているけど、コロナ対策などの臨時経済対策費として特別に追加交付があったからなんだ。ちなみに、地方交付税には、普通交付税の他に「特別交付税」というのもあって、普通交付税に反映できない地域ごとの特別な事情や災害などの突発的な状況の時に発生する需要に対して交付されるものもあるんだよ。

自由に使えるお金が少ない!?

## 2 経常収支比率

経常収支比率とは、財政構造の柔軟さが分かる指標で、「毎年収入される市税などの経常一般財源、減税補てん債（特例分）や臨時財政対策債」（自由に使える歳入）を、「人件費や扶助費などの決まった支出」（必ず必要な歳出）に対してどの程度充てているかの割合で算出される指標だよ。



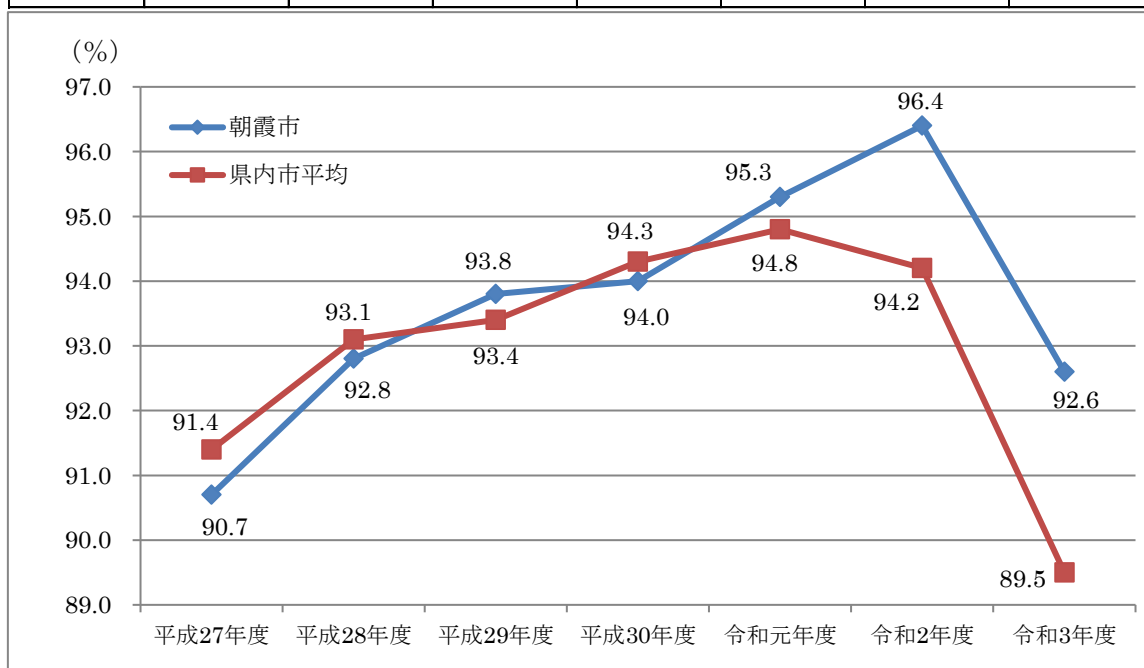
この指標が高いと、毎年決まった事にお金がかかってしまい、新しい市民サービスの提供などに使える自由なお金が少ないんだ。だから、この比率が低いほうが色々な市民サービスに使えるお金が多いということになるんだ。

令和3年度は、比率の低い順（良い方）からみて、県内40市中38番目で、上がり続けていた比率は前年度よりも3.8ポイントも下がって改善したように見えるけど、これは市税が見込みより落ち込みがなかったり、国で臨時財政対策債の増額があったからで、臨時的なものなんだ。

人口が増えて市税収入などが増えても、物件費や補助費、扶助費などの必要な支出がもっと増えると、自由に使えるお金の割合が少なくなるんだよ。

(単位: %)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
朝霞市	90.7	92.8	93.8	94.0	95.3	96.4	92.6



チェック!!

### 3 健全化判断比率

健全化判断比率とは、地方財政が破たんしないように（赤字が続いたり、借金の返済などによって市民サービスができなくならないように）チェックするための指標だよ。「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」で決まっているんだよ。



次の4つの指標の内、一つでも早期健全化基準以上だった場合、「財政健全化団体」に指定され、財政健全化に取り組むことが義務付けられているよ。

さらに、一つでも財政再生基準以上だった場合は、「財政再生団体」に指定され、自主的な財政運営が制限されるとともに、国の監督下で財政再建に取り組むことになるんだ。財政再建計画を作って国に報告する義務があったり、自由に借金ができなくなったりするんだよ。

朝霞市は4つのどの指標も基準を下回っていて、健全な状態で財政運営を行っているんだよ。

#### 【実質赤字比率】

一般会計の実質赤字額が標準財政規模に対してどれくらいあるのかを表す指標だよ。朝霞市の一般会計に実質赤字額は無いよ。

(単位:%)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
朝霞市	-	-	-	-	-	-	-
早期健全化基準	12.23	12.18	12.16	12.13	12.11	12.05	11.95
財政再生基準	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00

※実質赤字額がないため「-」と表記しているよ。

#### 【連結実質赤字比率】

全会計の実質赤字額（又は資金不足額）が標準財政規模に対してどれくらいあるのかを表す指標だよ。朝霞市は全会計をあわせても実質赤字額は無いよ。

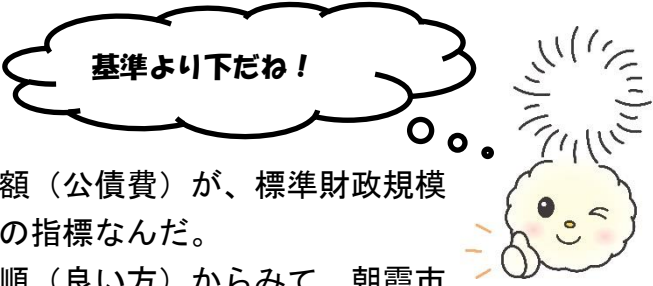
(単位:%)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
朝霞市	-	-	-	-	-	-	-
早期健全化基準	17.23	17.18	17.16	17.13	17.11	17.05	16.95
財政再生基準	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00

※連結実質赤字額がないため「-」と表記しているよ。

実質赤字額は無いね!





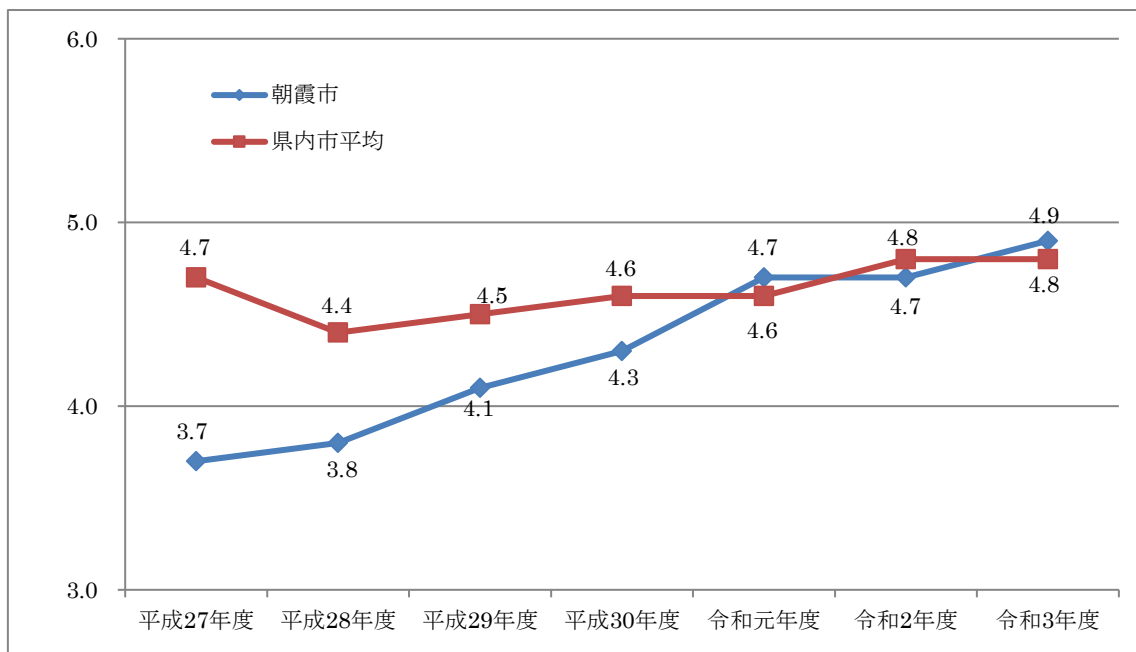
【実質公債費比率】

一般会計が1年間で支払う借金の返済額（公債費）が、標準財政規模に対してどれくらいあるのかを表すための指標なんだ。

令和3年度は、実質公債費比率の低い順（良い方）からみて、朝霞市は県内40市中23番目だよ。早期健全化基準を大きく下回っているよ。近年は、やや上昇している状況だよ。

(単位:%)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
朝霞市	3.7	3.8	4.1	4.3	4.7	4.7	4.9
早期健全化基準	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0
財政再生基準	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0



※標準財政規模…地方公共団体が標準的な状態で収入できるだろう經常一般財源（毎年度継続的に収入される使いみちに制限のない収入）の規模を示すものだよ。標準財政規模は、次の算式で求められるんだ。

$$\text{標準財政規模} = \text{標準税収入額等} + \text{普通交付税額} + \text{臨時財政対策債発行可能額}$$

標準税収入額等…標準税率による税収入、地方譲与税、交通安全対策特別交付金

(単位:千円)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
標準財政規模	23,004,151	23,577,204	23,867,884	24,374,531	24,611,558	25,585,443	27,105,446

負担は残したくないね

### 【将来負担比率】

一般会計が将来支払うべき借金の返済額（市債残高）などの負担の見込額が、標準財政規模に対してどれくらいあるかを示す指標だよ。

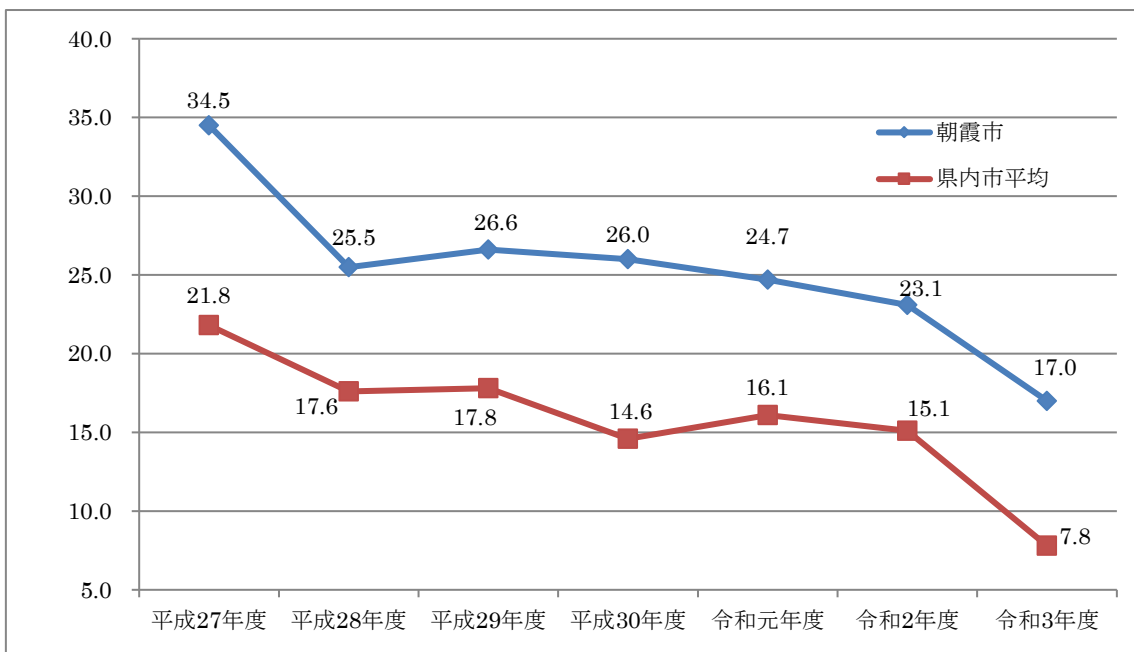
令和3年度は、将来負担比率の低い順（良い方）からみて、朝霞市は県内40市中12番目なんだよ。

県内市平均は上回っているけど、早期健全化基準を大きく下回っているんだ。ここ数年は、減少傾向にあるよ。



(単位:%)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
朝霞市	34.5	25.5	26.6	26.0	24.7	23.1	17.0
早期健全化基準	350.0	350.0	350.0	350.0	350.0	350.0	350.0
財政再生基準							



朝霞市は、赤字は無く、借金に頼り過ぎない財政運営を行っていて、4つの指標全てで早期健全化基準をクリアしているんだね。

いいかんじだほ！





# 第4章 予算編成



## 1 予算編成の流れ（枠配分方式について）

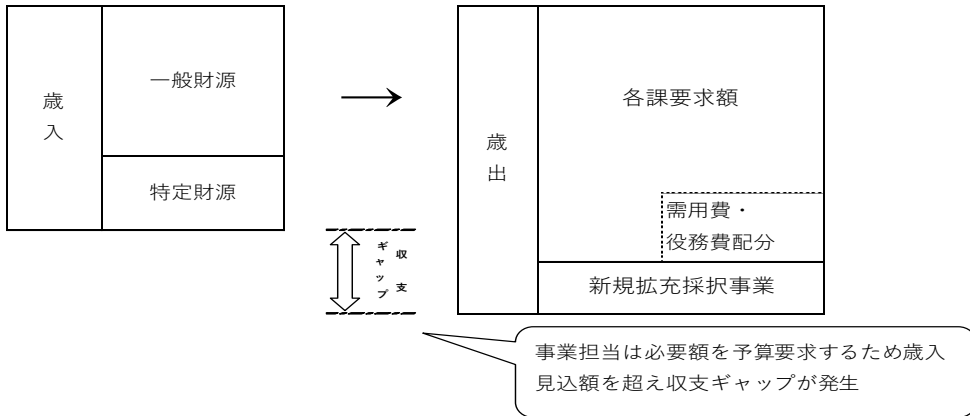
予算とは1年間の歳入と歳出の見積りのことで、予算編成とは、その見積りを作ることなんだよ。予算を作るといっても、ルールなどの決まりごとがないと決められないよね。朝霞市でもルールを決めて予算を作っているけど、令和4年度予算編成からこれまでの方法を変更したから説明するよ。



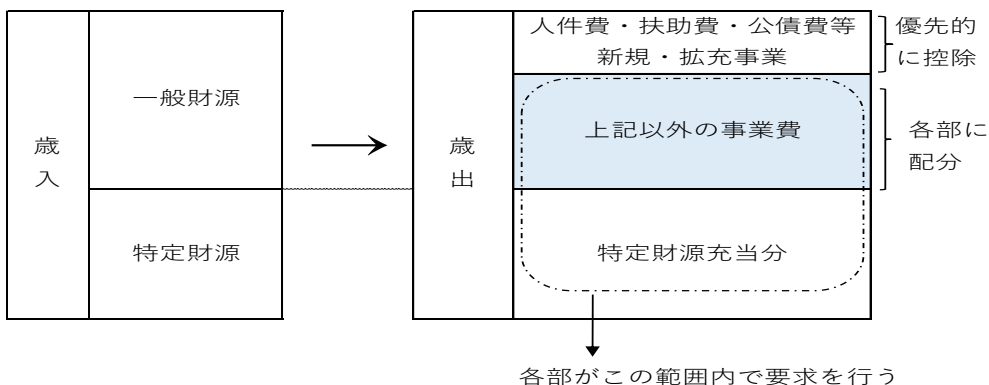
令和3年度までは「積み上げ方式」の予算編成をしていたけど、各課が要求するお金が入ってくる予定のお金よりも大きくて、毎年大きな収支ギャップが発生していたんだ。決まって入ってくるお金は限られているから、少ないお金でより良いサービスを提供するため、令和4年度からは、部に予算を割り当てて配ることで、各部がどの事業を実施するか判断できるように「枠配分方式」の予算編成をすることにしたよ。住民の皆さんと直接関わる機会の多い事業課が持っている情報をいっぱい使えることで本当に必要な事業に予算を配分できることが最大のメリットだよ。

### 【予算編成方式の比較】

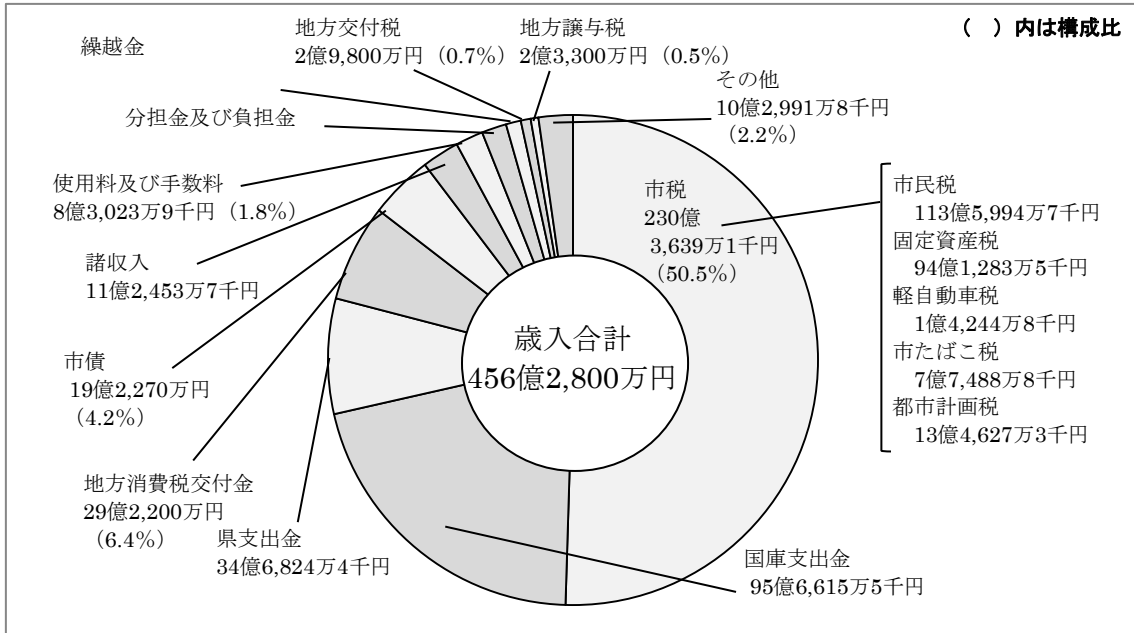
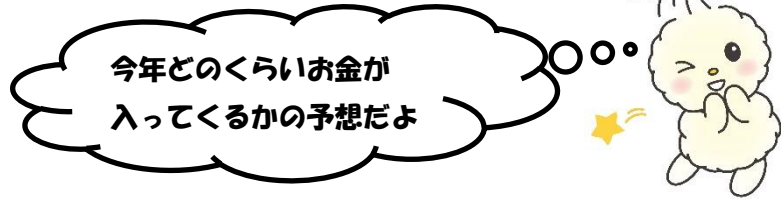
#### ○積み上げ方式（令和3年度まで）



#### ○枠配分方式（令和4年度から）



## 2 令和4年度一般会計当初予算（歳入）



※その他…利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、法人事業税交付金、ゴルフ場利用税交付金、環境性能割交付金、国有提供施設等所在市町村助成交付金、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金、財産収入、寄附金、繰入金

(単位:千円・%)

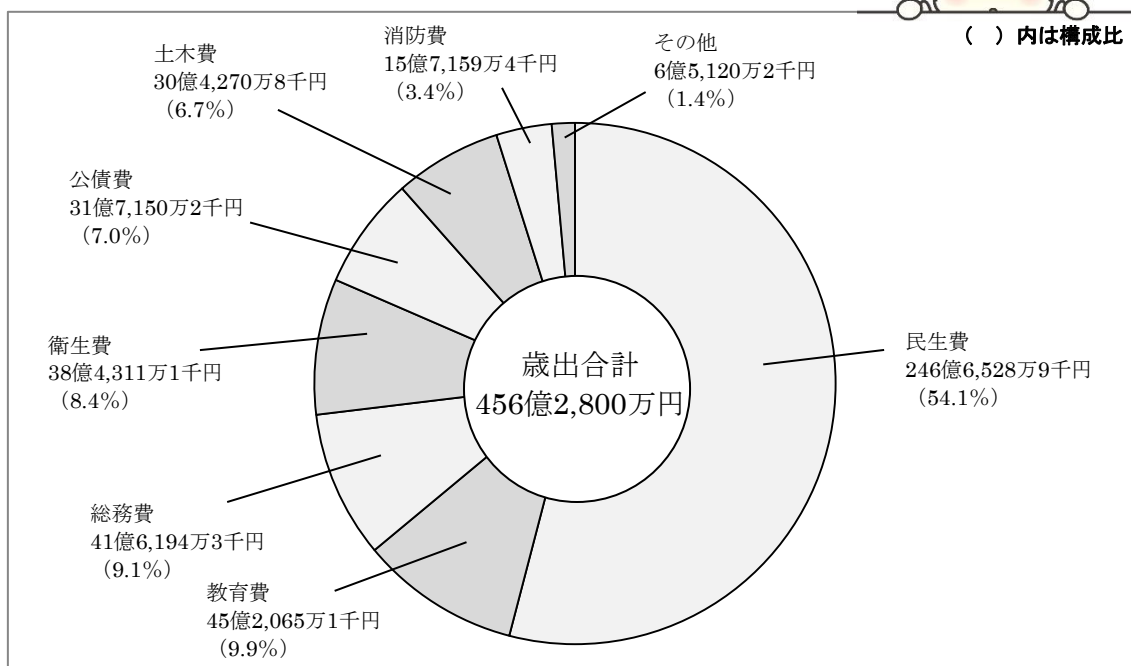
款	予算額	構成比
★市 税	23,036,391	50.5
地方 譲 与 税	233,000	0.5
利 子 割 交 付 金	14,000	0.0
配 当 割 交 付 金	106,000	0.2
株式等譲渡所得割交付金	122,000	0.3
法 人 事 業 税 交 付 金	187,000	0.4
地 方 消 費 税 交 付 金	2,922,000	6.4
ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	12,000	0.0
環 境 性 能 割 交 付 金	44,000	0.1
国 有 提 供 施 設 等 所 在 市 町 村 助 成 交 付 金	121,000	0.3
地 方 特 例 交 付 金	183,000	0.4
地 方 交 付 税	298,000	0.7
★交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	13,224	0.0
★分 担 金 及 び 負 担 金	746,816	1.6
★使 用 料 及 び 手 数 料	830,239	1.8
★国 庫 支 出 金	9,566,155	21.0
★県 支 出 金	3,468,244	7.6
★財 産 収 入	143,165	0.3
★寄 附 金	7,000	0.0
★繰 入 金	77,529	0.2
★繰 越 金	450,000	1.0
★諸 収 入	1,124,537	2.5
★市 債	1,922,700	4.2
合 計	45,628,000	100.0

※★は自主財源を、それ以外は依存財源を表しているよ。

入ってくるお金以上にお金を使うと赤字になってしまうから、歳入予算額と歳出予算額は、同じ額として見積るんだよ。



### 3 令和4年度一般会計当初予算（歳出）



※その他…議会費、労働費、農林水産業費、商工費、諸支出金、予備費

(単位: 千円・%)

款	予算額	構成比	款	予算額	構成比
議 会 費	285,480	0.6	土 木 費	3,042,708	6.7
総 務 費	4,161,943	9.1	消 防 費	1,571,594	3.4
民 生 費	24,665,289	54.1	教 育 費	4,520,651	9.9
衛 生 費	3,843,111	8.4	公 債 費	3,171,502	7.0
労 働 費	1,738	0.0	諸 支 出 金	6,008	0.0
農 林 水 産 業 費	72,279	0.2	予 備 費	50,000	0.1
商 工 費	235,697	0.5	合 計	45,628,000	100.0

市がその年に行う予定のことは、  
歳出予算を見れば分かるんだね



まだまだ  
気になるなあ

## 番外編 ほぽたんのぎもん

色々と難しい言葉がでてきてほぽたんには難しかったかな？  
もう少し説明が必要なところについて、解説するよ！



ぎもん① P5より  
市税が減るとどうなっちゃうのかな？

### こたえ①

朝霞市の歳入における市税の割合は大きいことをさっき勉強したよね。だから、市税が減ると、これまで行ってきた市民サービスが提供できなくなってしまおうおそれがあるんだよ。

市税には、景気の影響を受けやすいといった特徴があるんだ。また、新型コロナウイルスや災害などでも影響を受けたりするね。だから、そんなときのためにある程度貯金をしておく必要があるんだよ。その貯金のことをP14で説明した財政調整基金と言うんだ。

### ～さらにいうと～

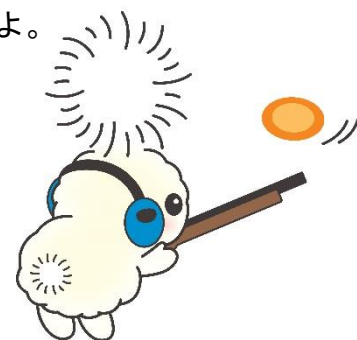
最近実施している人も増えている「ふるさと納税」。寄附によりふるさとを応援するという趣旨は大切だね。だけどこの制度によって、本来朝霞市に入ってくるはずだった市民税も影響（減収）を受けているんだよ。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
①	1, 196万3千円	1, 805万6千円	2, 240万5千円
②	2億6, 129万4千円	2億9, 167万円	3億8, 817万円
差引収支	△2億4, 933万1千円	△2億7, 361万4千円	△3億6, 576万5千円

① 朝霞市が受け入れたふるさと納税寄附金

② 朝霞市民が他市などへ寄附をした分の市民税の減収額（寄附金税額控除）

このように、差引収支のマイナスは年々増えていて、令和3年度は、**3億6, 576万5千円もマイナス**になっているんだ。このままだと市民サービスに影響が出ることも考えられるから、朝霞市のPRをしたりして、朝霞市にもふるさと納税をしてもらえるよう工夫をしているんだよ。



### ぎもん② P6より

市民一人当たりの市税負担額より、使われたお金の方が多いい理由は？  
民生費は具体的にどんなサービスがあって、なんで今後も増えていくの？

#### こたえ②

歳入には、市税だけでなく、国や県からもらうものや施設の使用料など、色々な種類の収入があるんだ。そういったものを活用することで、市民に負担してもらう市税以上に、たくさんのサービスを行えるように工夫しているんだよ。

民生費は、福祉や医療などの経費で、具体的には、障害者の方々のお手伝いや高齢者がおうちで自立した生活を送るためのお手伝い、こども医療費の支払いや保育園の整備・運営などの費用があるよ。

これらの事業は市民の生活に直結しているので、減らすことが難しいんだ。しかも朝霞市では人口が増えていて、保育園に入園したい子どもの数も増えているし、高齢化も進んでいくから、今後も増加していくものと考えられているんだよ。

### ぎもん③ P9より

扶助費がこれからも増えていくと、朝霞市の財政状況はどうなるの？

#### こたえ③

繰り返しになるけど、扶助費は市民の生活を支えるために必須のものなんだ。また、扶助費は義務的経費とも呼ばれ、支払うことが義務付けられている費用なんだ。そのため、扶助費が減るときは国の制度が変更になるなど、特別な理由がない限りは考えられないんだよ。そして、扶助費がこのままどんどん増えていくと、新しいことやほかのことに使えるお金が減っていってしまうんだ。

お金の使いみちに優先順位をつけていくことが、ますます大事になってくるんだよ。



### ～さらにいうと～

社会保障関係経費には、国や県からの負担金や補助金などを活用している部分があるんだよ。それを「特定財源」というんだ。

でもね、全額を負担してくれるわけではなくて、市が負担する分も当然あるんだ。それを「一般財源」というよ。令和3年度と前年度を比較すると・・・

特定財源が増えていて、国や県の負担してくれる分や、補助金を活用している分が増えているんだけど、それ以上に社会保障施策の経費が増えているから、朝霞市が負担している分も増えているんだね。

経費区分	令和3年度	令和2年度	増減額
社会保障施策に要する経費	239億6,384万3千円	231億8,726万3千円	7億7,658万円
特定財源	121億6,127万2千円	117億8,671万1千円	3億7,456万1千円
一般財源	118億257万1千円	114億55万2千円	4億201万9千円

#### ぎもん④ P10より

黒字ということは、朝霞市はお金持ちなのかな？

#### こたえ④

もちろん黒字なのはいいことだけど、予算の仕組み上、地方公共団体はほとんどが黒字なんだよ。朝霞市の状況としては、景気の回復にあわせて市税収入も増えているし、人口も毎年増えているんだ。でもね、次々に新しい行政課題が出てきて、それに対応するためにはたくさんのお金が必要になってくるんだ。

例えば、昔に建てた建物や道路などが古くなって修理しないと使えないとか、扶助費が年々増加しているなど、朝霞市が抱えている課題はたくさんあるんだ。だから、その年だけ見て、「黒字だから大丈夫」っていうことは言えないんだ。それよりも、「将来に備えなければいけない」という危機感を持っていないと、災害などの不測の事態が起きた時に対応できなくなってしまうんだ。

令和3年度の実質単年度収支は黒字だけど、借金の返済も残っているし、貯金もまだ多くないから、朝霞市はお金持ちであるとは言い切れないんだ。





### ぎもん⑤ P14より

借金があるのに貯金もあるのはなんでだろう？

#### こたえ⑤

P12でも説明したけれど、朝霞市の借金には、市民が長い期間にわたって使う施設の建設費などを、将来利用する市民にも借金の返済という形で負担してもらって世代間負担の公平性を保つ、という効果があるんだ。また、朝霞市が借金をするときには、原則として「お金が足りないからという理由」ではなく、「道路を作る・施設の改修をするなどの具体的な理由」が必要なんだ。さらに、「具体的な理由」について、事前に埼玉県に届出や協議をした上で、その事業に実際にかかった費用のうち決まった割合までしか借りられないんだ。このように、借金には色々ルールがあって、お金が足りないからといって急に借りられるものではないんだよ。

家計に置き換えて考えると、住宅ローン（借金）を払いながら、他の支出に備えて貯金することは普通だよ。それと同じように朝霞市も、新しい建物を建てたりして大きな支出があると借金をするし、その借金を払い終わる前でも、災害などの突然の支出に備えて貯金する必要があるんだ。

### ぎもん⑥ P15より

財政力指数は「1」を超えたほうがいいのか？それとも超えないほうがいいのか？

#### こたえ⑥

もし財政力指数がとても大きければ、他の地方公共団体と比較したとき、財政的に余裕があると言われているよ。だけど、財政力指数が1を超えると、

- ①普通交付税がもらえなくなる（不交付団体になる）
- ②臨時財政対策債の発行ができなくなる
- ③国や県からの補助金の補助率が下がって、もらえる補助金の額が下がるなどのデメリットもあるんだよ。

また、不交付団体になると、税収が上がったり下がったりしたときには、その影響を全額受けてしまうんだよ（交付団体であれば、影響の一部は地方交付税をもらってカバーできるんだ）。

朝霞市はもう少しで財政力指数が「1」を超えそうな状況なんだ。仮に少しでも「1」を超えたとしたら、税収があまり変わらないのに上のデメリットの影響を受けてしまうから、逆に財政的に不利な状況になる可能性があるんだ。







一緒に勉強してくれてありがとう。

とっても難しかったけど、最後まで頑張ったぽ！



ぽぼたん、最後まで付き合ってくれてありがとう。  
でも、少し難しかったよね。わからないことがあったら、いつでも聞いてね。  
また、本冊子を見られた市民の皆さまが朝霞市の財政に興味を持っていただき、少しでも身近に感じていただけたら幸いです。

## 資料編

本編に関連するデータを掲載しています。

資料 1 歳入・歳出決算額の推移

資料 2 実質収支の推移（一般会計）

資料 3 市債現在高の推移



## 資料2 年度別実質収支調(一般会計)

単位：円・%

区 分	28 年 度	29 年 度	30 年 度	元 年 度	2 年 度	3 年 度
予 算 現 額	41,002,353,180	41,950,379,742	43,046,912,636	45,709,152,658	63,770,826,336	54,410,157,665
最 終 予 算 額 (前年度からの継続費及び繰越事業費財 源充当額を除いたもの。)	40,416,656,000	41,195,444,000	42,459,809,000	45,150,709,000	62,302,655,000	54,170,708,000
歳 入 決 算 額 A	40,261,213,797	41,515,180,839	43,025,113,347	44,508,570,828	62,340,758,340	53,678,277,403
収 納 率	98.2	99.0	99.9	97.4	97.8	98.7
歳 出 決 算 額 B	39,195,487,917	40,381,092,126	41,683,945,275	43,341,690,299	61,326,720,595	50,738,707,102
執 行 率	95.6	96.3	96.8	94.8	96.2	93.3
歳入歳出差引額 A-B C	1,065,725,880	1,134,088,713	1,341,168,072	1,166,880,529	1,014,037,745	2,939,570,301
継 続 費 遡 次 繰 越 額 D	10,949,742	12,944,596	49,651,658	160,039,336	437,900	2,964,211
繰 越 明 許 費 繰 越 額 E	48,921,200	101,716,040	172,046,000	30,631,000	23,839,000	104,750,800
事 故 繰 越 し 繰 越 額 F	801,000	0	0	4,601,280	1,579,765	1,219,700
実 質 収 支 C-D-E-F	1,005,053,938	1,019,428,077	1,119,470,414	971,608,913	988,181,080	2,830,635,590
実質収支比率(一般会計)	4.3	4.3	4.6	3.9	3.9	10.4

標準財政規模(千円)	23,577,204	23,867,884	24,374,531	24,611,558	25,585,443	27,105,446
------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------

### 資料3 市債現在高の推移

単位：千円

	平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末	平成30年度末	令和元年度末	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末見込
一般会計	29,587,241	28,571,896	28,221,744	28,089,210	26,926,149	26,711,800	26,035,509	25,069,195
(うち臨時財政対策債)	13,715,556	13,350,617	12,828,889	12,023,768	11,034,874	10,020,642	9,635,042	8,609,044
下水道事業会計	3,038,948	3,086,945	3,088,505	3,301,646	3,246,422	3,500,944	3,504,306	4,008,574
水道事業会計	4,235,746	4,566,720	4,807,088	4,851,916	4,888,188	4,797,993	4,526,341	4,902,410
企業会計合計	7,274,694	7,862,846	7,895,593	8,153,562	8,134,610	8,298,937	8,030,647	8,910,984
全会計合計	36,861,935	36,847,674	36,117,337	36,242,772	35,060,759	35,010,737	34,066,156	35,726,617

※令和4年度については令和4年12月末時点での見込みです。

# 財政関係用語集

## ～あ行～

### ○ 維持補修費（いじほしゅうひ） P 8

歳出を性質別に区分したものの一つで、公共施設を修繕するなど、その効用を維持するために要する経費のこと。

### ○ 依存財源（いぞんざいげん） P 4、22

国や県からの収入や借り入れによる財源のこと。地方交付税、国庫支出金、県支出金、地方譲与税、地方債などが該当する。

《関連：自主財源》

### ○ 一般会計（いっぱんかいけい） P 2

地方公共団体の基本的な行政運営経費を計上した会計のこと。

《関連：特別会計》

### ○ 一般財源（いっぱんざいげん） P 26

使い道に制限のない財源で、地方公共団体が自主的にその用途を決定できるもののこと。地方税、地方交付税、地方譲与税などが該当する。

《関連：特定財源》

### ○ 衛生費（えいせいひ） P 6、7、23

歳出を目的別に区分したものの一つで、公害対策やごみ処理など、住民の健康で衛生的な生活環境を保持するために要する経費のこと。

## ～か行～

### ○ 貸付金（かしつけきん） P 8

歳出を性質別に区分したものの一つで、他の地方公共団体や民間団体への貸付に要する経費のこと。

### ○ 議会費（ぎかいひ） P 6、7、23

歳出を目的別に区分したものの一つで、議会の活動のために要する経費のこと。

○ 教育費（きょういくひ） P 6、7、23

歳出を目的別に区分したものの一つで、学校・博物館・公民館・図書館などの施設の設置管理、その他教育や学術文化に関する事務を行うために要する経費のこと。

○ 繰入金（くりいれきん） P 3、4、22

歳入科目の一つで、基金の取り崩しや、他の会計からの繰り出しによって得る収入のこと。

○ 繰越金（くりこしきん） P 3、4、22

歳入科目の一つで、前年度から当該年度へ持ち越された収入のこと。

○ 繰出金（くりだしきん） P 8

歳出を性質別に区分したものの一つで、特別会計などに支出するために要する経費のこと。

○ 経常収支比率（けいじょうしゅうしひりつ） P 17

財政構造の弾力性を示す指標。「毎年収入される市税などの経常一般財源、臨時財政対策債」を、「人件費や扶助費や公債費などの決まった支出」に対してどの程度充てているかの割合で算出される指標のこと。指数が高いほど財政が硬直化し、自由に使えるお金が少ないということになる。

○ 決算（けっさん） P 1～11

会計年度（4月から翌年3月までの期間）1年間の歳入と歳出の確定した結果を示したものの。

○ 県支出金（けんししゅつきん） P 3、4、22

歳入科目の一つで、県から、市町村が実施する特定の事業に対して交付される収入のこと。

○ 公営企業会計（こうえいきぎょうかいけい） P 2

民間企業と同じように、基本的に事業による収益でまかなわれている会計のこと。朝霞市では水道事業と下水道事業の2つの会計が該当する。



**○ 公債費（こうさいひ） P 6～8、23**

歳出を目的別または性質別に区分したものの一つで、地方債の元金の返済や利子の支払いにかかる経費のこと。

《関連：実質公債費比率、地方債》

**○ 交付金（こうふきん） P 3、4、22**

歳入科目の一つで、国や都道府県が徴収した税金を一定の基準によって市町村に配分される収入のこと。利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、ゴルフ場利用税交付金などがある。

**○ 国庫支出金（こっこししゅつきん） P 3、4、11、22**

歳入科目の一つで、国から、都道府県や市町村が実施する特定の事業に対して交付される収入のこと。

## ～さ行～

**○ 財産収入（ざいさんしゅうにゅう） P 3、4、22**

歳入科目の一つで、地方公共団体が保有する財産の運用などで得る収入のこと。

**○ 歳出（さいしゅつ） P 6、11、23**

会計年度（4月から翌年3月までの期間）1年間の支出のこと。

**○ 歳入（さいにゅう） P 3、11、22**

会計年度（4月から翌年3月までの期間）1年間の収入のこと。

**○ 財政（ざいせい） P 1**

国や地方公共団体がさまざまな公共施設や公的サービスを提供するために、税金などのお金を集めて管理し、必要なお金を支払っていく活動のこと。

**○ 財政調整基金（ざいせいちょうせいききん） P 13**

想定外の歳入の減少や歳出の増加などに備えて、安定した財政運営を行うために積み立てている基金のこと。

### ○ 財政力指数（ざいせいりょくしすう） P 1 5

市民サービスを行うために必要なお金を自分の力でどれだけ準備できるかを示す指標のこと。通常基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の過去3か年の平均で表し、指数が大きいほど財政力が強いことになる。指数が「1」を超えると、国から普通交付税がもらえなくなる。

**算式**：基準財政収入額÷基準財政需要額＝財政力指数

### ○ 自主財源（じしゅざいげん） P 4、2 2

地方公共団体が自主的に収入している財源のこと。地方税、分担金、負担金、使用料、手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金、諸収入などが該当する。

《関連：依存財源》

### ○ 実質赤字比率（じっしつあかじひりつ） P 1 8

一般会計の実質赤字額が標準財政規模に対してどれくらいあるのかを表す指標のこと。20パーセント以上で財政再生団体となる。

《関連：標準財政規模、連結実質赤字比率》

### ○ 実質公債費比率（じっしつこうさいひりつ） P 1 9

一般会計が1年間で支払う借金の返済額（公債費）が、標準財政規模に対してどれくらいあるのかを表すための指標のこと。18パーセントを超えると地方債発行に国の許可が必要となる。また、25パーセント以上で財政健全化団体、35パーセント以上で財政再生団体となる。

《関連：公債費、標準財政規模》

### ○ 実質収支（じっしつしゅうし） P 1 0

歳入歳出差引額から翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた数値で、その年度の実質的な収支を表している数値のこと。

《関連：実質単年度収支、単年度収支》

### ○ 実質単年度収支（じっしつたんねんどしゅうし） P 1 0

実質的な黒字要素（財政調整基金への積立金や債務を繰り上げて償還した繰上償還金）や赤字要素（積立金取崩し額）が、歳入・歳出に措置されなかった場合、単年度収支がどのようになっていたかを表している数値のこと。

《関連：実質収支、単年度収支》

**○ 社会保障関係経費（しゃかいほしょうかんけいけいひ） P 1、26**

安心して生活していくための「医療」、「年金」、「福祉」、「介護」、「生活保護」などの公的サービスを実施するために必要な経費のこと。

《関連：扶助費、民生費》

**○ 消防費（しょうぼうひ） P 6、7、23**

歳出を目的別に区分したものの一つで、災害から地域住民の生命と財産を守るために必要な消防設備などの整備に要する経費のこと。

**○ 将来負担比率（しょうらいふたんひりつ） P 20**

一般会計が将来支払うべき借金の返済額（市債残高）などの負担の見込額が、標準財政規模に対してどれくらいあるかを示す指標のこと。市町村については、350パーセント以上で財政健全化団体となる。

《関連：標準財政規模》

**○ 使用料及び手数料（しょうりょうおよびすうりょう） P 3、4、22**

歳入科目の一つで、使用料は、市民センターや体育館などの公共施設の利用などに係る収入のこと。手数料は、住民票の発行など自治体の提供するサービスの対価として徴収する収入のこと。

**○ 人件費（じんけんひ） P 8**

歳出を性質別に区分したものの一つで、市長・市職員の給与、市議会議員の報酬などの経費のこと。

**○ 総務費（そうむひ） P 6、7、23**

歳出を目的別に区分したものの一つで、徴税・戸籍・選挙・統計などに要する経費のこと。

## ～た行～

**○ 単年度収支（たんねんどしゅうし） P 10など**

当該年度の実質収支から前年度の実質収支を差し引いた数値のこと。1年間で黒字であったか赤字であったかを表している。

《関連：実質収支、実質単年度収支》

**○ 地方交付税（ちほうこうふぜい） P 3、4、15、22**

歳入科目の一つで、地方公共団体の自主性を損なわずに地方財源の不均衡を調整するために、国税の一部を合理的な基準によって、国から地方公共団体に交付される税のこと。地方の固有財源とされている。

《関連：普通交付税、特別交付税、臨時財政対策債》

**○ 地方債（市債）（ちほうさい（しさい）） P 3、4、12、22**

歳入科目の一つで、道路や学校、保育園など長い期間利用できる公共施設を整備する時などに、地方公共団体が資金調達として行う借り入れる債務のこと。現在の市民と将来の市民の負担を平等にする効果や、年度による出費の偏りをなくす効果などがある。

《関連：公債費》

**○ 地方譲与税（ちほうじょうよぜい） P 3、4、22**

歳入科目の一つで、国が徴収した税金を一定の基準によって都道府県や市町村に配分される収入のこと。地方揮発油譲与税、自動車重量譲与税、森林環境譲与税などがある。

**○ 積立金（つみたてきん） P 8**

歳出を性質別に区分したものの一つで、財政調整基金などへの積み立てに要する経費のこと。

**○ 特定財源（とくていざいげん） P 26**

使い道が特定されている財源のこと。国庫支出金、県支出金、地方債などが該当する。

《関連：一般財源》

**○ 特別会計（とくべつかいけい） P 2**

特定の事業における歳入歳出について、一般会計と区別して計上した会計のこと。朝霞市では、国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療保険の3つの特別会計がある。

《関連：一般会計》

**○ 特別交付税（とくべつこうふぜい） P 16**

普通交付税に反映できない地域ごとの特別な事情や災害などの突発的な状況の時に発生する需要に対して交付される税のこと。

《関連：地方交付税、普通交付税、臨時財政対策債》

**○ 土木費（どぼくひ） P 6、7、23**

歳出を目的別に区分したものの一つで、道路橋りょうの整備・改良、都市計画などに要する経費のこと。

～な行～

**○ 農林水産業費（のうりんすいさんぎょうひ） P 6、7、23**

歳出を目的別に区分したものの一つで、農業の改良や組合の指導育成、農業施設の管理などに要する経費のこと。

～は行～

**○ 標準財政規模（ひょうじゅんざいせいきぼ） P 19**

地方公共団体が標準的な状態で収入しうる経常一般財源の規模を示すものこと。各地方公共団体（他の市など）と財政規模を比較する場合などに用いられる。  
《関連：実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率》

**○ 扶助費（ふじょひ） P 8、9**

歳出を性質別に区分したものの一つで、生活保護や児童福祉、障害者福祉などの社会保障に要する経費のこと。

《関連：社会保障関係経費、民生費》

**○ 普通建設事業費（ふつうけんせつじぎょうひ） P 8**

歳出を性質別に区分したものの一つで、道路、公園、学校などの施設の建設事業など社会資本の整備に要する経費のこと。

**○ 普通交付税（ふつうこうふぜい） P 19**

地方交付税の一つで、合理的・客観的な指標をもとに計算された標準的な行政経費（基準財政需要額）から、標準的な一般財源となる収入（基準財政収入額）を引いた額を交付基準額として国から地方公共団体に交付される税のこと。

《関連：地方交付税、特別交付税、臨時財政対策債》

**○ 物件費（ぶっけんひ） P 8**

歳出を性質別に区分したものの一つで、施設の光熱水費や消耗品、備品購入費、各種委託料などに要する経費のこと。

○ 分担金及び負担金（ぶたんきんおよびふたんきん） P 3、4、22

歳入科目の一つで、分担金は、地方公共団体が条例に基づいて課す受益者負担金の一種のこと。負担金は、ある事業について特別の利益関係にある者から、その経費の全部又は一部を受益の程度に応じて徴収する収入のこと。保育園や放課後児童クラブの保育料などがある。

○ 補助費等（ほじょひとう） P 8

歳出を性質別に区分したものの一つで、各種団体に対する補助金や講師への謝礼などに要する経費のこと。

## ～ま行～

○ 民生費（みんせいひ） P 6、7、23、25

歳出を目的別に区分したものの一つで、福祉や保育など、住民の一定水準の生活を確保し、安定した社会生活を保障するために要する経費のこと。

《関連：社会保障関係経費、扶助費》

## ～や行～

○ 予算（よさん） P 21～23

会計年度（4月から翌年3月までの期間）1年間の歳入と歳出の予定を示した計画のこと。

## ～ら行～

○ 臨時財政対策債（りんじざいせいたいさくさい） P 19、32

地方交付税の財源不足に対応するために、基準財政需要額などをもとに算出された額の範囲内で発行することができる地方債のこと。

《関連：地方交付税、普通交付税、特別交付税》

○ 連結実質赤字比率（れんけつじっしつあかじひりつ） P 18

全会計の実質赤字額（又は資金不足額）が標準財政規模に対してどれくらいあるのかを表す指標のこと。30パーセント以上で財政再生団体となる。

《関連：標準財政規模、実質赤字比率》

○ 労働費（ろうどうひ） P 6、7、23

歳出を目的別に区分したものの一つで、中小企業への融資支援、商工業の振興などに要する経費のこと。



市の財政については、  
ホームページに公表しています。



作成 朝霞市総務部財政課  
〒351-8501 埼玉県朝霞市本町1丁目1番1号  
TEL048-463-1111 (代表)  
TEL048-463-3179 (直通)